

# 私たちのねがい



1月1日、能登半島地震により甚大な被害が発生しました。  
長野県災福ネットでは、社会福祉法人佛子園とのつながりから、1月8日に石川県能登町に長野県ふくしチーム(DWAT)先遣隊を派遣。同町から切実な要請を受けて本隊派遣を開始しました。  
《石川県からの要請を受けた長野県の指示による公式派遣となっている。=1月8日から適用》  
DWAT各都県チームの連携をさらに深めて、できる限りの福祉支援を被災地に届け続けましょう！

- 高齢化が進む中、避難所には、広域避難を「したくない人」「できない人」「その判断ができない人」が少なくありません。避難所開設初期からDWAT投入が必要です。
- そのため、自己完結型で活動できるDWATチームの養成が必要です。装備や訓練の充実を図っていきましょう。
- 奥能登地域の避難所でも、DWATの支援は不可欠です。各県チームが力をあわせて被災者を支え続けましょう。

## 災害関連死を防ぐ、DWATとは…



NHKプラス ホームページから



NHKおはよう日本  
2月15日 7:08~

## 「地元に残りたい」高齢者の福祉避難所。DWATが提案



TBS NEWS DIGから



TBS 昼のニュース  
(ひるおび)、2月14日



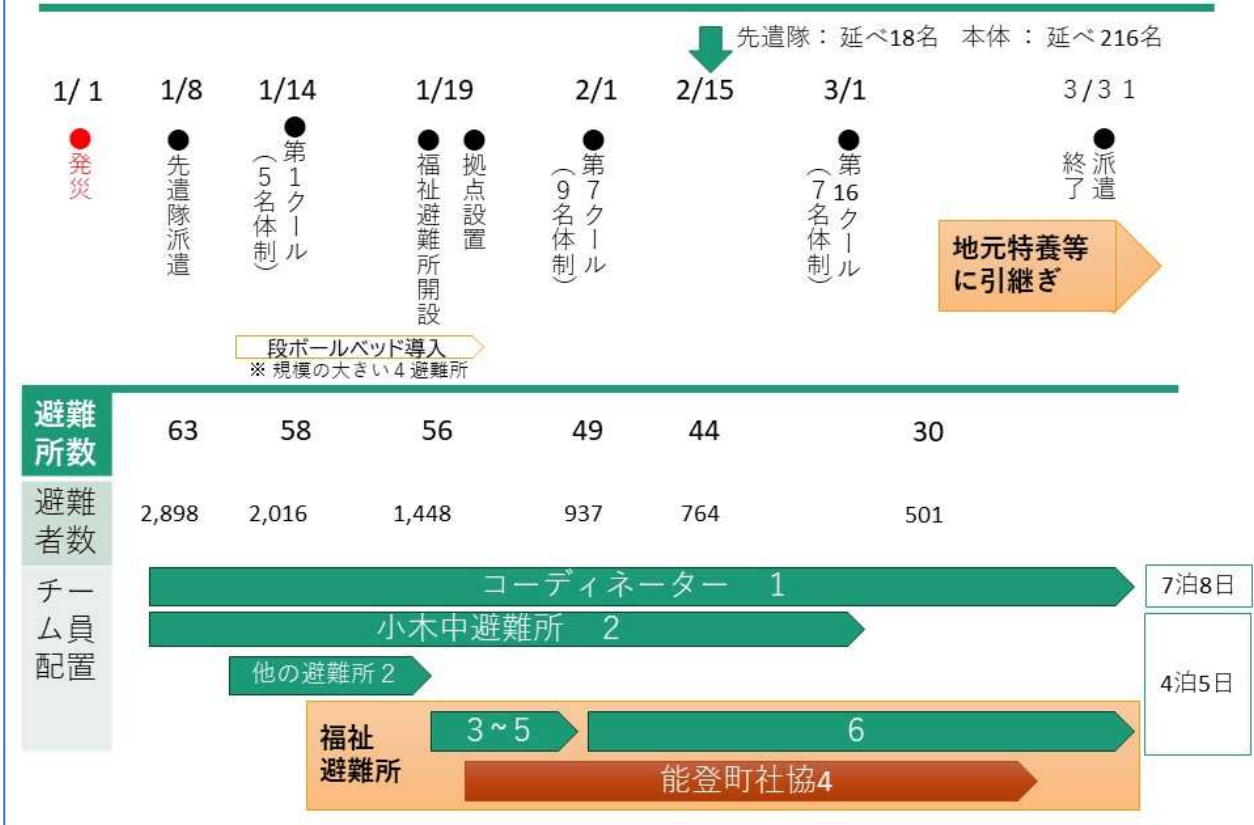
※ 赤い羽根「ボラサポ」中長期助成申請中



長野県ふくしチーム  
(DWAT)の活動  
拠点

石川県能登町「のと海洋ふれあいセンター」

# 石川県能登町派遣の概要（長野県ふくしチーム）



ベッドをみんなで作る



「意思決定支援」が必要



福祉避難所の設置を担当

- ・これまで住民中心に担ってきたケアのお手伝い、引継ぎ。また、医療チーム・保健師チームから気になる要支援者情報を引継ぎ、随時、福祉アセスメントにつなげている。
- ・段ボールベッド2つが届き、住民に作り方を指導。今後、全員分が届いた際に、上下足分離を行う予定。
- ・なんでも相談コーナーを設置。広域避難が呼びかけられているが、高齢者が多く、金沢に避難したらその後どうなるかイメージできない方も多く、意思決定を支援する福祉の力が切に求められている。



## 能登町保健医療福祉調整本部

